

ジンベエザメの全長を実測しました

大阪市港区の海遊館では“計量記念日”の本日11月1日(水)に館内「太平洋」水槽で飼育展示中のジンベエザメの全長・胴回りの実測を行いました。



本日のジンベエザメ実測の様子

遊(ゆう) / メス / 推定年齢 16 ~ 17 歳

全長 6 m 10 cm 推定体重 1,700 kg 胴回り 2 m 62 cm
(昨年 全長 6 m 00 cm 推定体重 1,650kg 胴回り 2m 35cm)

海(かい) / オス / 推定年齢 8 ~ 9 歳

全長 5 m 40 cm 推定体重 1,150 kg 胴回り 2 m 34 cm
(昨年 全長 5 m 25 cm 推定体重 1,050kg 胴回り 2m 20cm)

※昨年より、健康管理の精度向上を目指し胴回りも実測しています。

海遊館では、まだ詳しい生態のわかっていないジンベエザメの生態研究や体調管理の一環としてジンベエザメの全長測定を行っています。全長測定はメジャーによる実測を行っており、この方法は給餌中のジンベエザメの体に触れるトレーニングによって実現しました。

計量記念日を通して生き物たちが元気に成長する様子や海遊館の健康管理の取り組みを紹介し、自然環境について興味をもっていただきたいと考えています。

実測の様子を素材提供いたします。

本件に関するメディアお問い合わせ先：海遊館広報 (06-6576-5529)

《 ジンベエザメについて 》

■英名: Whale shark ■学名: *Rhincodon typus*

温帯から熱帯の沿岸および外洋に生息する大型のサメで、日本近海では黒潮に乗って春から秋にかけて現れます。体は灰色で白色の斑点が散在し、小型甲殻類などのプランクトンを食べます。成長すると最大で10～12mになり、さらに大きく成長する可能性もあると考えられています。

《 計量記念日について 》

計量に関する制度は、経済・社会の最も基本的な制度であり、国民生活のあらゆる分野の基盤的制度です。計量の基準を定め、適正な計量を確保することは、日常の生活を守るとともに、経済の発展及び文化の向上のために非常に重要なものです。

経済産業省では現行の計量法が施行された平成5年11月1日にちなみ、以後11月1日を「計量記念日」とし、また11月を「計量強調月間」とし、計量制度の普及や社会全体の計量意識の向上を目指しています。

(一般社団法人日本計量振興協会ホームページより)